

ふれあい音楽会

2025年11月22日(土)に開催を予定しておりました「第22回ふれあい音楽会」は会場である藤ヶ岡中学校のインフルエンザ流行により、中止となり、大変申し訳ございませんでした。

開催に向けて準備を進めてくださっていた関係者の皆様をはじめ、参加に向けて一生懸命練習に励んでいた児童・生徒の皆さんには多大なご迷惑をおかけしたこと、そして何より努力した成果を発表する場を設けることができなかつたことに、重ねてお詫び申し上げます。

村岡ふれあいまつり

今年度は、村岡市民センターの移転に伴い、村岡ふれあいまつりは次年度へ延期することとなりました。



あそびの広場

8月22日(金)、村岡地区の青少年育成協力会、社会福祉協議会、民生委員児童委員連絡協議会と村岡市民センターが共催で、あそびの広場を開催しました。地区内の各小学校からの参加があり、全体で300名を超える小学生が、ヨーヨーつり、ダーツ、バルーンアート、お菓子作り、射的、工作を楽しみました。



安全サポート隊

安全サポート隊カードは、村岡地区の小中学校の保護者および希望される地域の方々を対象として配布しています。

保護者の方々が来校する際に着用いただくことにより、昨今では子ども達に自然と「見守り隊」として認知されるようになりました。地域の方々のご協力もあり、子どもたちが安心安全に登下校でき、かつ防犯の一助にもなっています。みなさまの日々のご協力を心より感謝いたします。

今後とも、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

村岡中学校PTA 安全サポート隊部会長 櫻井 恵

編集後記

「むらおか・子ども相互支援会議」の活動も25年が経過しました。今年度は、村岡市民センターの移転やインフルエンザ等感染症の影響もあり、事業が計画通り進まないこともありました。今後とも活動への支援とご協力をお願いいたします。

むらおか・子ども相互支援会議 会報

第25号

2026年3月10日発行

発行責任者：廣田 和江
事務局：村岡市民センター
住所：村岡東1丁目5-17
TEL: 23-0634

ふれあい

会長からの ごあいさつ



会長 廣田 和江

学校・家庭・地域(三者)連携推進会議事業では子どもたちがよりよく成長していくため、多くの人たちとの触れ合いや、さまざまな体験が必要であることから、互いの特徴を生かし地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を支援しています。現在15の地域協力者会議が組織され、1つの中学校を基本に、4地区では2中学校を合同とし活動しています。

むらおか・子ども相互支援会議は後者の方で、藤ヶ岡中、村岡中の2校に藤沢東部地区の大鋸小、大道小、村岡地区の高谷小、村岡小、新林小を加えた2中学校、5小学校を一つの単位とし、校長先生、保護者、地域諸団体の代表者が定期的に集まり、学校での子どもたちの生活について、また地域のさまざまな情報を共有すべく情報交換をしています。

今年度、村岡地区では全ての小中学校でコミュニティ・スクールが立ち上がりました。地域の方々が子どもたちのために何ができるかを考え活動していくことと思います。

さて、むらおか・子ども相互支援会議では、今年も部会活動の他に、夏休み中に小学生を対象とした「あそびの広場」を開催しました。市民センターホールを使用し、ヨーヨーつり、射的、ダーツ、工作、お菓子作り、バルーンアートといった遊びを用意し、社協、青少協、三者連携、民児協、小学生から大学生までのボランティアと多くの方に協力をいただいたの実施でした。短い時間でしたが、300人余りの子どもたちが元気よく遊び、参加した大人たちもともに楽しんだ一日でした。

また秋には「ふれあい音楽会」を予定していましたが、残念ながらインフルエンザによる学校閉鎖のため、やむを得ず中止となりました。練習を重ね準備してきた子どもたちはとても残念だったと思いますが、来年はぜひ子どもたちの歌声や素晴らしい演奏を披露してほしいと願っています。また実施に際し準備等に関わってくださった教職員の皆様に厚く感謝を申し上げます。

来年も、こうした事業がつつがなく実施できることを期待しております。

むらおか・子ども相互支援会議としては、下記のとおり年間を通して話し合いを進めながら実施に向けて部会活動も行っております。

【安全サポート隊部会】

○子どもたちを犯罪や事故から守るため、地域住民の協力を得て登下校時や校外生活の安全確保に努める

【ふれあい音楽部会】

○各小中学校が参加して合唱や演奏を通して音楽の楽しさを知り豊かな感情を育み、地域住民などが交流を深める

【発信・共催事業部会】

○市民センターまつりでの学校紹介の展示、講演会を実施する

【広報部会】

○支援会議の広報誌を作成する

藤沢市三者連携推進事業とは



子どもたちの健やかな成長を支援するためには、学校だけに依存せず、学校・家庭・地域が連携し、環境づくりとさまざまな組織のネットワーク化を図ることが必要です。

そこで藤沢市では、平成11年度から各中学校区を単位に地域協力者会議を組織し、地域の課題を解決する支援体制づくりが進められてきました。これが三者連携事業といわれるもので、市内19中学校区に15の支援組織ができています。(2校で1つの支援組織が4つあります。)

「むらおか・子ども相互支援会議」は、村岡・藤ヶ岡の2つの中学校区で1つの支援組織とし、村岡・大道・新林・高谷・大鋸の5小学校を加えて学校関係者と保護者、地域の人たちで構成しています。

学校から地域に向けて



藤ヶ岡中学校 校長：齋藤 秀竹

本校では、「みんなの努力を大事に」を学校教育目標に掲げ、生徒一人ひとりのがんばりを温かく見守り、お互い支え合う教育を大切にしています。日々の学校生活や行事、授業、部活動に真剣に取り組む生徒たちは、仲間の努力をお互い認め合い、励まし合いながら成長しています。

来年度から特別支援学級が開級することで、より多様な学びのニーズの応える体制が整います。また、別室指導の教室である「藤ヶ岡ルーム」も、さらに充実したものになるよう新たな取り組みをはじめます。

地域の皆さまには、日頃より温かなご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。今後も子どもたちの心豊かな成長を支え、見守ってくださるよう、よろしくお願い申し上げます。



村岡中学校 校長：亀山 憲生



**「校歌」を明るく伸びやかに歌う学校になる！
Let's sing our school song brightly
and with a sense of pride and freedom!**



毎年のことながら常に猛暑の心配をしながら学校行事（体育祭、修学旅行、運動部の大会、合唱コンクール、文化祭）を進めて参りました。幸いなことに今年も大きな混乱もなく、行事の中で生徒たちが輝いて活動する場に立ち会うことができました。コロナ以降全員で集まって校歌を歌う場面が減っていたため、今年目標として「校歌を明るく伸びやかに歌う学校を目指そう」と呼びかけていました。合唱コンクールでは市民会館に村岡中学校校歌が響き渡り、一体感を全員で共有できました。

地域の皆さまには、日頃より温かく見守っていただき心より感謝申し上げます。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

村岡小学校 校長：佐々木 貴



村岡小学校は、学校教育目標として掲げる『人間性豊かで、たくましく生きる子どもを育てる』という理念のもと、地域とともに歴史を紡いできた学校です。開校は明治6年です。2023年（令和5年）には創立150周年を迎えました。地域の皆さまには、日頃から本校児童を温かく見守り、支援していただき、誠にありがとうございます。

本校では今年度より学校運営協議会がスタートしました。1年目の今年は委員の皆さまに今の学校の様子を知っていただくことを目標に協議会を行っています。児童の様子を見ていただいたり、施設の状況を見ていただいたりしながら学校の今を感じていただいています。今後、学校の課題や困りごとをお伝えしていく中で、どのような手立てができるかを委員の皆さまと協議を重ねていきたいと思っています。

これからも児童が「わかった!」「できた!」「がんばった!」「もっとやってみたい!」と感じながら、「なりたい自分」に向けて一歩ずつ進んでいく姿を地域の皆様で見守っていただきますようお願いいたします。



高谷小学校 校長：岩並 裕子



学校教育目標「地域・社会で生きる子を育てる～つむぎ 育てる～」のもと、本校の子どもたちは学校生活全体を通してさまざまなことを学んでいます。

今年度は異学年活動をより取り入れたことにより、上学年は下学年を気遣い、下学年は上学年に憧れるなど多様な人間関係を構築しています。また、地域の皆さまのご協力のもと学区に絵を掲示したり校庭を整備したりと、地域で育てていただいていることを実感しています。

地域の皆さまには、日頃より温かなご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。今後も子どもたちの心豊かな成長を支え、応援団として見守っていただきますようお願いいたします。



新林小学校 校長：沙田 吉穂

新林小学校は、年々児童数が増え、現在24クラス725名（599世帯）の児童が在籍しています。朝から元気なあいさつが飛び交う学校です。

学校目標「人とのかかわりを大切に、ささえあえる子どもを育てる」のもと、豊かな関わりの中で子どもたちが主体性をもってさまざまな活動に取り組むことができるよう努めています。今年度も授業中はもちろんのこと、学年行事や集会活動等においても、対話や関わりを大切に教育活動を進めてまいりました。

また、今年度本校にも学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとして、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を図り、魅力ある学校づくりに努めてまいります。地域の皆さまには、いつも温かく見守っていただき感謝申し上げます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

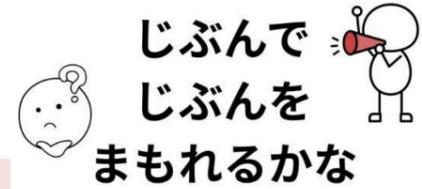


大鋸小学校 校長：近藤 千鶴

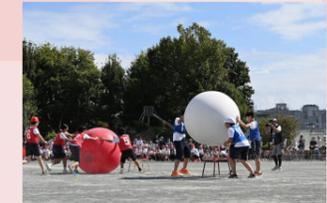
「笑顔がいっぱい!『ごきげん』な 大鋸小」を目指して

大きな木々に囲まれ心地よい風が吹き抜ける「大鋸の丘」、ここ大鋸小学校には、現在25クラス766名（607世帯）の子どもたちが在籍しています。ここで出会う子どもたちや教職員、保護者、地域の皆さま、すべての人が「笑顔で」「ごきげんに」過ごせる学校を目指しています。

今年、コミュニティ・スクールやPTA運営委員会を中心に、「子どもたちの命を守る防災」について話し合いを進めています。特に、防災用食料や災害用トイレなど備蓄品の購入については、管理の方法も含めて熟議を重ねるところです。子どもたちが毎日を安全に、そしてごきげんに過ごせるよう、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



大道小学校 校長：梶浦 いづみ



学校教育目標「ともに学びともに育つ大道の子」のもと、今年度も地域や市役所の皆さまの支援を受け、多様な体験的活動を行いました。1～3年生のモビリティ・マネジメント（MM）教育、5年生の福祉体験、2年生の獣医師による講演等、さまざまな分野の方々に大変お世話になりました。また、学校運営協議会でも、学校支援の仕組みづくりについて活発な協議が行われています。

10月の運動会では、久しぶりに全校種目が復活し、大玉送りで盛り上がりました。児童の活動としては、2学期の行動目標を「元気よく笑顔であいさつしよう」とし、1月にはあいさつ運動を行う予定です。地域の皆さま、今年度も温かいご支援と多大なご協力をありがとうございました。